



わきあいあい

—登別市ふるさと学習推進事業

『ふれあい・ふるさと農園』—

登別小学校の児童と夕見高齢クラブの会員が、5月17日小学校横の500㎡の民地に芋やウモロコシ、ジャンボカボチャなどの種を植えました。

畑を耕すおじいちゃんたちの手つきに「さすがー」の声が飛ぶ一方で、子どもたちは「肥やし」を敬遠。すかさずおじいちゃんが、「みんながおいしく食べる野菜は、この肥やしのおかげなんだよ」と説明すると子どもたちも納得。

わきあいあいの雰囲気の中作業が進み、作業終了後給食と一緒に食べながら秋の収穫に思いをはせていました。

NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'90.6. /
No.476

いい汗かいたね

第15回 こいのぼりマラソン



さつき晴れの五月六日(日)、第十五回こいのぼりマラソン大会が行われました。
市営陸上競技場をスタートした三歳の子供から七十六歳のお年寄りまで五百三十名の参加者は、満開の桜が咲くコースへと向いました。元気いっぱいの子びっ子や、ヨチヨチ歩きの手を引く親子などマイペースで、七、五、三キロのコースを完走し、完走証とシラカバのバッグタックを受け取りました。雨のため一日順延となったこの



大会は、毎年こどもの日に、登別市子ども育成団体連絡協議会が主催し、こいのぼりのようにスクスクと育ってほしいとの願いを込めて実施しています。
若葉がまぶしい日差しの中、みんないい汗をかいていました。

名前を付けて

マリナーパークのイルカとアシカ

七月二十日にオープンする「登別マリナーパークNIXE」では、みなさんにシヨロを披露するイルカとアシカの名前を募集しています。

素敵な名前が欲しいのは、オス、メス各三頭のイルカとオス二頭、メス四頭のアシカたちです。
ハガキ一枚につきイルカかアシカ一頭分の名前と性別を書き、住所、氏名、年齢、電話番号、職業または学校名と学年、記念品Tシャツのサイズ(S・M・L)を明記し、登別市登別東町一丁目二十二北海道マリナーパーク「イルカ・ア

シカネーミング」係へお送りください。採用された方十二名にTシャツとベアの入場招待券(名前が重複した場合は抽選)、また、応募者全員の中から抽選で百組の方に入場招待券をプレゼントします。締め切りは六月十八日(月)必着です。
素敵な名前を待っています。



困難に負けず自分を磨きます。

開講十周年の登別市婦人短期大学の平成二年度入学・始業式が五月十六日に行われました。

式に出席したのは、新一年生五十八名を含む二百名。新入生代表の主婦、川上美千代さんが「学ぶ困難さはありませんが、自分を磨き地域のために役立てるよう努力したい」と誓いの言葉を述べました。婦人短大は、月二回の教養コースと月一回の選択コースが十二月まで行われ、生徒はバス見学などを通して交流を深めたり、老人大学との合同学習会などに参加します。

「学ぶ意欲のある方は大歓迎」と教育委員会社会教育課は、中途の入学も呼び掛けています。



エスエス！ みどり色？



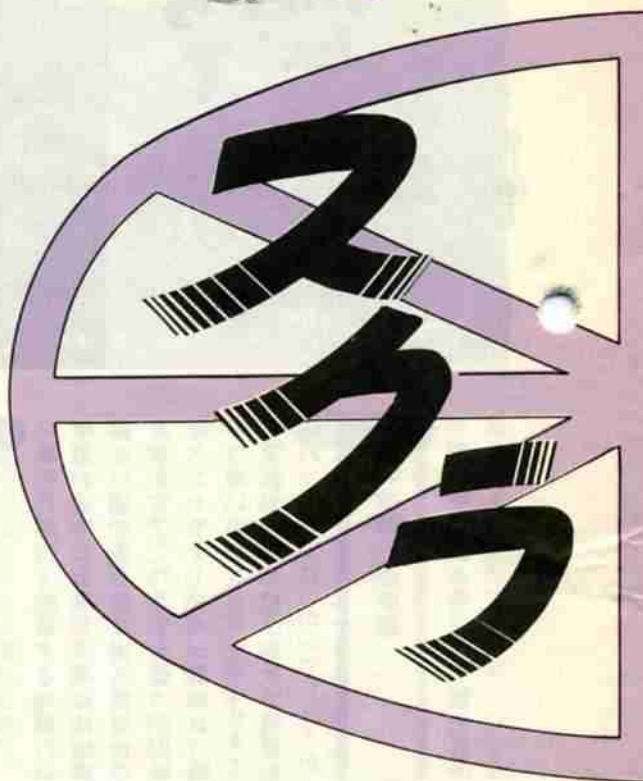
色付でお見せ
できないのが残念

登別市郷土資料館の庭に、緑色の花をつけた桜の木が二本。TVでも放映され、ちよっとした名物になりました。
桜といえはピンクか白だと思っ
方が大勢だと思いますが、この御
衣黄という木の花は緑。葉の色に
陰れて見過ごすことが多く気が付
きません。隣の八重桜の鮮やかな
ピンク色とのコントラストが見事
で、写真で色をお見せできないの
が残念です。



Sangrai, Mr. Pawarat, Miss Suanpata

ようこそ 登別へ……



タイの中学生が
札内小中学校を
訪問しました。

登別ライオンズクラブが認証三
十周年を迎えた記念に日本へ招い
たタイの中学生五名が、四月二十
日、札内小中学校を訪問しました。
訪問したのは同クラブが協力し
ている「ダルニー奨学金」を受け
中学へ通っている子供達で、日本
の中学二年生にあたります。来日
したみなさんは、十九日の夜登別
温泉に一泊しこの日の訪問となり
ました。



現在三十名の会員で運営して
いる登別市ボランティアの会(会
長井上ハルヨさんは、毎週金曜
日に鉄南ふれあいセンターで例

訪問を受けた札内小中学校の児
童・生徒たちは札内神楽獅子舞で
歓迎し、タイの子供たちは収穫を
祝う踊りを披露し交流会が始まり
ました。一輪車乗りや長縄跳びに
は、早速タイの子も挑戦。遠慮が
ちだった交流会もグッと盛り上が
り、手をつなぎあつての合唱など
和やかに会は進みました。

一緒にぎゅぐゅぞ…… 登別市ボランティアの会

昼食はカレーライスの給食。お
国と違った味付けでも「おいしい」
と、きれいに平らげていました。
「将来ある子供たちの、学ぶ環境
づくり役に立ち感謝している」と
引率のラタナポンテー先生は語る
と同時に、もっと多くの子供達へ
の援助も訴えていました。

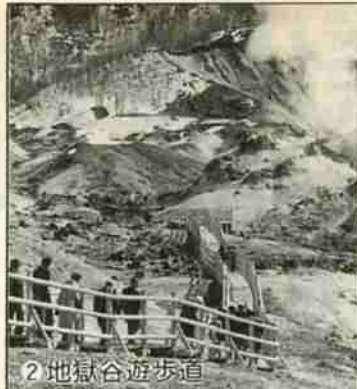
会を行っています。

活動内容は、布の本の製作や
社会福祉施設の訪問、お年寄り
の介護など幅広く行われ、今年
は九月三十日(日)に鉄南ふれあ
いセンターで開催する友愛セー
ルの準備など忙しくなりそうだ
と話していました。

会の中心となるメンバーの高
齢化と活動(布の本の作製)の
拠点となる会場を確保できない
のが現在の悩みで、「会員と会場
を探しています」と協力を呼び
かけていました。

多様な活動をしている「登別
市ボランティアの会」入会した
い方、活動の内容を詳しく知り
たい方は
井上ハルヨさん(☎068225)
へ連絡してください。

お弁当もって 家族と一緒に 楽しいね



野に。山に。



市内自然散策



桜の季節も過ぎ、さわやかな初夏の到来です。休日には、家族や友人と自然の中へ出る機会も多くなることでしょう。

今号では、私たちの身近にあるすばらしい自然を紹介しましょう。

天気の良い一日。登別のうつくしい自然に触れてみてはいかがでしょうか。

① ナナカマドの広場

地獄谷周辺を散策する地獄谷遊歩道の途中にあり、広場には地獄谷を一望できる張り出し展望台があります。また、芝生を張った広場はベンチやテーブルが置かれ、静かな憩いのひとときが過ごせます。家族や友人とピクニック気分を味わってみてはいかがでしょうか。

② 地獄谷遊歩道

登別温泉にまた一つ、観光名所ができました。

地獄谷の中で延びるこの遊歩道は、全長百五段。丸太材を組んだ幅一・五段の木の歩道で、地獄谷を東西に横切る形になっています。

今年の三月に完成したばかりで、間近に見る地獄谷は迫力十分です。

③ 舟見山遊歩道

地獄谷遊歩道につながるこの遊歩道は、全長約一・五キロ、森林浴気分が味わえます。途中には高浜虚子の句碑があり、酸性土壌に強い植物が群生。ヤマウルシやホ



カムイヌプリ カムイ・ヌプリとは、「神様の・山」という意味。その昔、コタンの人たちが神霊の存在する山として尊びました。標高750mで、観別ダム横に登山口があります。観別市街からも近く、毎年市民登山会なども開かれ多くの市民に親しまれています。





8 陸の沢



6 橋湖



4 カルルス・サン・スポーツランド



9 溪楓園



7 亀田記念公園



5 川上公園

オノキ、ナナカマドの木立の中を野鳥が飛び交います。

④ カルルス・サン・スポーツランド

来馬岳に抱かれた雄大な自然の中でテニス、ゲートボール、スベリースゴルフなどが楽しめるスポーツ施設です。中央にはカラ松材を使った山小屋風のセンターハウスが建ち、中は研修室や喫茶室もあります。

近くにはカルルス温泉もあり、スポーツのあと温泉で汗を流してはいかがでしょう。

⑤ 川上公園

幌別ダム周辺の豊かな自然環境を利用した総合公園です。多目的広場、入口広場や高さ六段の築山を中心にするべり台、ジャングルジムなど子供の遊び場「子供ランド」もあります。幌別市街からも近く、毎年多くの催し物も行われています。

⑥ 橋湖

この湖は、カルルス温泉の東に位置し、上登別町の加車山林道を北へ二キロほど歩くと見られます。木立の中に静かなたたずまいを見せ、その昔アイヌの若い男女が結ばれない恋を悲しみ、身を投じ

たという伝説も残されています。また、日本で唯一売りに出されている湖で周囲約一・五キロ、面積約九畝です。

⑦ 亀田記念公園

面積約二十万平方メートルの広大なレクリエーション緑地です。おいしいジンギスカン料理、植木の販売のほか、子供の遊べるジャブジャブ川などこれからの季節、公園内のあちこちから歓声が聞こえてくるでしょう。

⑧ 陸の沢

幌別川の上流、鉾山町へ行く途中にあります。明治の末期から大正の初めにかけて銅の採掘が行われていたらしい鉾山跡があります。いまではフキやタケノコなどの山菜採りをする人が来る程度ですが、美しい溪流は涼味十分です。

⑨ 溪楓園

登別温泉の奥座敷と言われる静かな山あいの温泉郷カルルス温泉にあります。美しい千歳川が流れるこの場所は、宿泊客の散策路として、またおとしよりのくつろぎの場、ゲートボール場としても利用されています。



オロフレ山 標高 1,231 には壮瞥町と白老町の境界線上に位置しています。夏は高山植物が群生し、秋には全山紅葉、冬は樹氷の海と化しオロフレ雪原をつくります。昭和63年10月に、標高 800 地点を貫くオロフレトンネルが完成し、洞爺湖との通年通行が可能になりました。



来馬岳 中腹にカルルススキー場が開設され、地元以外の人にも親しまれています。標高 1,040 には、オロフレ山に次ぐもので市内では一番高く、唯一の 1,000 級の山です。山頂からは洞爺湖、羊蹄山のほか、神秘的湖「橋湖」も望むことができます。

登別市新総合計画の指針 “実施計画”まとまる

この実施計画は、すでに策定されている「登別市新総合計画」を効果的に推進するため、社会経済情勢の変化や毎年度の財政状況、更に事業の進捗よく状況等を考慮しながら作成されるもので行政運営の中期的な指針としての役割を果たしています。

◎実施計画の期間は三か年で、平成二年度から四年度となっております。

◎実施計画の対象事業

- 補助事業を含む市の事業
- 国、道などの直轄公共事業
- 民間の大型プロジェクト

◎三か年の重点的な取り組み

- 観光の振興
 - 観光振興基本計画の策定、登別温泉地域総合整備、登別温泉まちづくり基本計画の作成
 - 登別ビーチパーク建設、登別伊達時代村建設など
- 産業の振興
 - 企業誘致（工場適地調査、土地利用計画の検討）、企業立地振興条例の改正、中小企業振興条例の見直し、異業種交流、地場産品の活用、沿岸漁業の振興、商店街近代化の推進など
 - 福祉の充実
 - 高齢化、障害者のまちづくり指針の策定、ヘルスバイオニアタウン事業の推進、ふれあい広場の開催など
 - 教育、文化の振興
 - 生涯学習推進計画の策定、生涯学習振興基金の創設、国際交流、外国人教師の招致、小中学校・社会教育施設の整備など
 - 生活環境の整備
 - 公共下水道の普及、市街地整備基本計画の策定、国道・道の整備促進、海岸・河川の整備促進、交通安全施設の設置
 - 都市公園の整備、ごみ処理基本計画の策定など

※実施計画についてのお問い合わせは市総務部企画調整室（☎1122）まで。なお、残部数に限りがありますのでご希望の方は、お早目にご連絡ください。

七月一日から支払い方法が変わります。

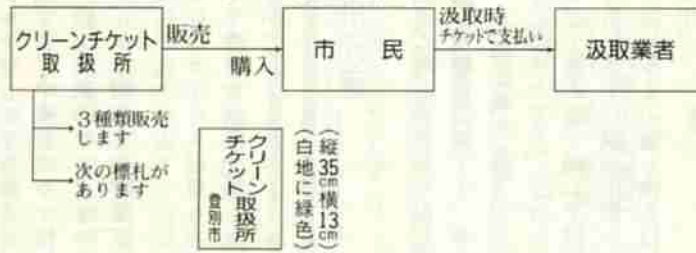
し尿処理手数料

現在「し尿処理手数料」は、取り時に証拠と引き換えに直接料金を支払っていただいていたのですが、七月一日から「クリーンチケット

（し尿処理券）」で支払う方法に変わります。このクリーンチケットは、市内各地域の取扱所（商店等）で販売

しますので事前に購入していただきます。（チケット取扱所、販売開始日は今号の折り込みをご覧ください。）

＜クリーンチケットの流れ＞



＜クリーンチケットの種類＞(略図)

● 36ℓ券(18～53ℓ) 124円(橙色)		
クリーンチケット取扱所控 (し尿処理券) 36ℓ券(18～53ℓ) ¥ 124円 登別市Na (取扱所の控)	クリーンチケット (し尿処理券) 36ℓ券(18～53ℓ) ¥ 124円 登別市Na (汲取時切り取って 業者に渡してください) 購入時もらう部分 (汲取時まで切り離さないでください)	クリーンチケット領収証 (し尿処理券) 36ℓ券(18～53ℓ) ¥ 124円 登別市Na (市民の控)
● 180ℓ券(162～197ℓ) 620円(青色)		
クリーンチケット取扱所控 (し尿処理券) 180ℓ券(162～197ℓ) ¥ 620円 登別市Na	クリーンチケット (し尿処理券) 180ℓ券(162～197ℓ) ¥ 620円 登別市Na	クリーンチケット領収証 (し尿処理券) 180ℓ券(162～197ℓ) ¥ 620円 登別市Na
● 360ℓ券(342～377ℓ) 1,240円(緑色)		
クリーンチケット取扱所控 (し尿処理券) 360ℓ券(342～377ℓ) ¥ 1,240円 登別市Na	クリーンチケット (し尿処理券) 360ℓ券(342～377ℓ) ¥ 1,240円 登別市Na	クリーンチケット領収証 (し尿処理券) 360ℓ券(342～377ℓ) ¥ 1,240円 登別市Na

下水道工事 (雨水函きよ)に伴う 交通管制について

登別市の公共下水道事業は、今年十月の一部供用開始に向け整備

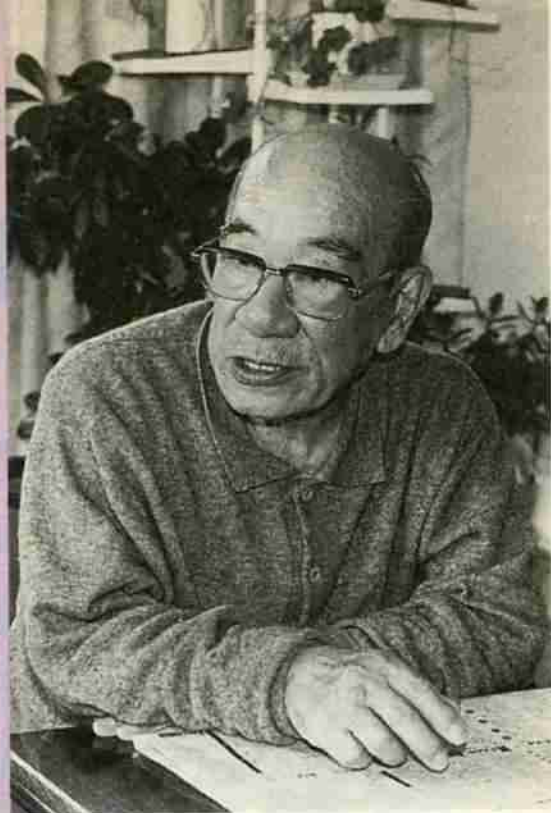
を進めています。今回事業は、千歳町一丁目(めいんぼう)付近の大雨による床上浸水等の被害をなくするため、排水管を設置するものです。が、道路内で行うため交通管制をします。ご協力をお願いします。

▼期間 六月上旬～十二月上旬
▼場所 幌別町三丁目十七先(国道三十六号線、道道弁景幌別線交差点) 鉄南ふれあいセンター横
▼問い合わせ 市役所下水道課 事係(☎9052)

いきいきとまち

前川 敏雄 さん

郷土資料収集に情熱



高校時代のコイン収集の趣味が高じて、いまでは一万点以上の郷土資料を集めている北海道博物館協会々員の前川敏雄さんにお話をうかがいました。

——文化財というのは、一般的には貴族や武士階級等のものが高く評価されがちですね。それはそれで重要だと思いますが、実際に庶民の日常生活の中で使われた農具や家財道具なんかもその時代を知るうえで大変貴重なものだと思います。

前川さんは、市内中央町の自宅二階を「南道文化資料館」として一般開放しています。長い間の公務員生活のあと第二の人生を同資料館の「館長」として見学者への応対にも熱が入ります。郷土資料を収集した動機やエピソード、これからの夢などについてお話をう

かがいました。

——子どもの時から色んなものを集めるのが好きだったんですね。

昭和六年に高校の修学旅行で東京や鎌倉などに行ったときなんか夜店で古銭を買い集めたりしていました。郷土資料を集め出したのは昭和三十年代。市内に新しい家が建ち始め、生活様式も除々に変わってきた頃です。今集めて保存しなければ、我々の先人がどのような苦心して現在の文化を築きあげてきたのか知るすべが失なわれてしまうと思ったからです。ですから、このまちで生き、このまちで暮らした先人が実際に生活の中で使

った民具や生産用具など、くらしのにおいのするものを主に集めはじめました。

これまで集めたものには、漁具、両替屋の天びん、大八車、のこ、市内で出土した化石、幻灯機、カメラ、ランプ、衣裳、農具など。めずらしい物としてはジョン・パチエラーの遺品なんかもあります。それに古い文書や当時の人の記憶をたよりに旧幌別町の市街図の復元などもしてみました。私は、生まれも育ちも幌別ですからこの土地に愛着があるし、この土地のものを集めることに意義があると思っています。ただ、今はほとんど集められないですね。以前は妻と二人で散歩なんかしているとゴミ捨て場に古い家具なんか捨ててあって、それを持って来たこともありました。(側で奥さん——この人と歩くのはイヤです——と苦笑い)

勉強のために日本各地の博物館なんかも見学してきました。アメリカやカナダの博物館巡りに出かけたこともあります。向うには、大きなものもあります。なんの変哲もない小さな町にほんとに小さな博物館があるんです。ほんのささやかな博物館でも、その町にとっては大切で誇りにしているのを見て感激しました。

いちばんの悩みは資料の保管場所ですね。小さなものはいいんですが、農具や漁具は場所を取るか

ら……。二階に入らない大きな物は裏に一棟建てて保管しているんです。それと後継者がいないこと。五人の子供(三男二女)がいます。が皆んなそれぞれ独立しています。ので、今後の希望としては、もう少し設備を整えたりパンフレットなどを作成して、地域のお年寄りや子供たちに一人でも多く見てもらいたいということですね。

多くの方に見ていただき、この資料を単なる展示品としてとらえず、このような生活用具を使って生き抜いてきた名もない庶民の生活を想像してもらえればと思います。市内で収集したものだからその感も一層強くなると思いますし、先にも言ったように今日の文化をまた次の世代へと引き継ぐ自覚を持つてもらえれば、この資料館の目的も達せられると思います。



〈展示品の説明にも熱が入る〉

富岸小学校の歴史について

リポーター 工藤 勝雄 さん

先人の 労苦をしのぶ

二十一世紀に向けて登別市のま
ちづくりの現状には目ざましいも
のがあります。

十年程前までは、水田があり馬
がいて草をはみ、鳥が飛びかい、
また大雨が降ると道路まで水につ
かる富岸の山あいの村が、今では
高速度道路の建設が行われ、川も二
級河川へ昇格し立派な護岸も完成
山側には緑陽中学校が出来、近く
は新しい富岸小学校の校舎、また
近年中には大型店も進出してくる
様であり、新しい住宅が軒を連ね
るほどの発展ぶりです。

この発展を続ける富岸町に、初
代の富岸小学校の校長先生であつ

た野呂先生のご家族が住んでいる
と聞き、当時の富岸小学校の様子
などについてお話しをうかがいま
した。

明治の中頃までは、森林が海岸
まで続きわずかに漁師の家が二、
三軒ある程度。富岸川には鮭がの
ぼるまったく未開の地であったそ
うです。その後、屯田兵が入植し
開拓が始まった二、三年後には、
岩見沢と室蘭間の鉄道が開通。し
かし、この地区には駅がなく単な
る通過点でしかありませんでした。
鉄道の完成により室蘭には大工
場ができ、職を求めて大勢の人が
集まりましたが、富岸地区の発展
は思うように進まなかったよう
です。

昭和初期の戦時景気により室
蘭近郊の町や村も発展のきざしが
見え、富岸の小学校も昭和八年に
ようやく富岸尋常小学校として独
立。初代校長に野呂保麿先生を向
えました。その前にも教育の場は
ありましたが、独立した学校とし
ては認められなかったのが実情の
ようでした。野呂校長のご子息で
ある野呂孝麿さんによると、当時
の富岸小学校は教室が一つ、教師
は校長先生と奥様の二人だけ。奥
様は、女子生徒に裁縫を教えてい
たとのこと。複式校で先生の
住宅が棟続きになっており、全校
生徒は三十五名程。第二回の卒業
生は九名で、その中に孝麿さんも
いました。

運動会となると、部落のレクリ
エーションでもあり村の人たちの
楽しみで、お祭りや並び村の二大行
事であったそうです。児童たちの
普段の状況は、夏は近くの川で水
遊び、秋には山ぶどうとり、栗ひ
ろいといったように自然と共にす
ごしていたようです。ただ、冬の通
学は大変で遠いところは六、七以
上離れたところから来る子供もい
て、雪の降る日は家族に連れてこ
られたりしていました。

先人の方々の当時の苦労は、大
変であったとしみじみ感じた次第
です。

昭和四十年頃より室蘭のベッド
タウンとして当地が見直され、街
の様子も変り道路の整備と相まっ
て宅地が造成され、人口も年々増
加。これに合わせて富岸小学校も
移転新築され、近代的校舎となっ
ています。

現在では、先生も二十五名、児
童数約六百五十名と名実共に立派
な教育の場となっています。十数
年前には想像も出来なかった富岸
地区の発展ぶりです。この地では
区画整理事業も終了し、今後ます
ます市街化が進むと想像されるこ
とから、昔のおもかけが残ってい
るうちに富岸地区の来歴について
お話をうかがっておこうと、今回
レポートをさせていただきます。
野呂さんのご家族には突然おう
かがいし取材をさせていただきます
りがとうございました。

工藤 勝雄 さん

(若山町在住)

工藤さんは、汐平ゲートボール愛好会の会
長として毎日練習を欠かしません。また、町
内会の役員としても地域のために活躍する元
気なおじいちゃん(73歳)です。

REPORT

貴重なお話しをしてくださった
野呂孝麿さん(写真右)。

ご自身も富岸小学校の卒業生で、
今日の発展は想像できなかつた
と当時を思い出していました。



市民 体験隊

図書館司書入門

リポーター
中川 たみ子 さん



中川 たみ子 さん

(富士町在住)
中川さんは、現代的なセンスの持ち主で、流石の一面もご家庭では、(建設業)を支えるなど活動的な奥様です。

「司書」失格?!

テレビは常に付けっ放し、ロックのレコードは鳴りっ放し、台所で茶碗の割れる音、(これは私)おまけに怒鳴る声。がさつな家族で成り立っている我が家に愛想を尽かし、静寂と知的風景を求めて私は時々、図書館に足を運ぶ。館内に一歩踏み入った途端、思わず背筋がピンと伸びるから不思議だ。自分がいっばしの知識人であるかのような錯覚に陥る。多分、知性やら品性への憧れがそうさせ

るのだろうか、そんな知的気分が味わえるという浅ましい気持ちで、整然と並んだ書架の前に立つ。
「これだけ沢山の本に囲まれて仕事ができる司書さんは羨ましい」
そんな呟きが漏れたのか、チャンス到来。一日司書として貸出カウンターの中心に入れてくれると言おう。瞬間、嬉しさと不安が入り交じる。だが、気分はすでに女司書いよいよ当日。足取りも軽やかに図書館へ。
司書の清野さんが登別図書館の概要、仕事の流れ等を丁寧に教えて下さるがすでに錆びかかった頭にはなかなか納まってくれない。ただ我が愚息の誕生と同じ、昭和四十七年開館だけはすんなりと入ったようだ。(当たり前か)
「さて、何かからやってもいいでしょうか」眼鏡の奥が優しく笑っている。と、早速お客様(?)が見えた。でしゃばりの性格を見破られて、「やってみますか?」と心配そうに私に譲る。内心ドキドキしながらも冷静さを装う。ところがどうして、ミスばかり。日付の印は逆様に、カードはなかなか探せない。カウンターの向こうから不審そうな顔がのぞくが、気持の焦りが裏目に出る。手がじとっと汗ばむ。「慣れたら大丈夫ですよ」横で清野さんが慰めてくれる。
すっかり自信をなくした女司書、それを察して本物の司書さん、「ブッカーを掛けてみますか」と他の

仕事を教えてくれる。
新しく購入した本に透明で粘着性のビニールを全て掛ける。手間はかかるが本の保護には欠かせないらしい。机に山積みしている本の数で仕事の量を知る。今年図書館費の予算が増えて、と清野さんは嬉しそうだがその分仕事量も倍増したように見える。
不器用な私は一冊のブッカーを掛けるだけでも四苦八苦。あまりの不出来に椅子から立ち上がり、山ほどの本を抱えて配架して歩く清野さんの後を追う。
十進分類法で区分された番号が背表紙に貼ってあるが、ベテラン司書さんは書名を見ただけで手際良く納めていく。どこに何があるか大体は勘と記憶で分かるらしい。
もうとっくに司書見習いを諦めた私はいくらか正常に戻りつつある頭で今日一日を振り返ってみる。まるで自分の無能さを確かめに来たようなものだという事は忘れることにして、



図書館利用者が快適である為には、やはり司書さん職員さんの地味だが誠実な働き、静なる忙しき、特に購入する図書を選ぶ重要性。市民の要求は勿論、各雑誌や新聞の書評、出版情報等に常に目を通し、休日には本屋さんも覗いてみるという熱心な努力に支えられている事を改めて認識できたことは、一市民として素直に喜びたいと思う。

TRY

長年の功績に対して

勲五等瑞宝章

鹿野善雄さん



昭和二十年に当時の幌別村警防団(警防分団)に入団。以来四十三年間にわたり消防団活動に尽力され、特に昭和五十五年から八年間は団長の重責を努められました。

また、町議会議員、市議会議員も三期務められ、このたびの叙勲もこれら長い間の功績に対して贈られました。

勲六等瑞宝章

松浦重行さん



昭和十六年の室蘭警察署をふりだしに、本別、池田、函館、釧路を回り昭和五十年に退職するまでの三十四年間を警察行政に捧げられました。

昭和三十年に室蘭署に戻ってからは警備畑一筋に歩まれました。このたびの叙勲は、これら長年にわたる功績に対して贈られました。

厚生大臣特別表彰

小林クニさん

昭和三十七年に民生・児童委員になって以来二十七年間、地域の生活困窮者の援助、自立更生などに尽力されました。

石本一男さん

昭和四十六年に民生・児童委員になって以来十八年間、地域住民の相談や各種福祉活動に尽力されました。



あなたの町内会・団体へ 講師よんでみませんか

——マイプラン講座——

市教育委員会は、皆さんの町会や団体などへ講師を派遣し気軽に学習してもらうマイプラン講座の申し込みを受け付けています。

昨年度は別表のとおり十五の講座が開催され、約六百名の方が利用されました。

(別表)

講座名	講座名
ゆかたの着付け教室	落語鑑賞
きものの着付け教室	料理教室
川柳教室	歌謡教室
山野草の集い	パッチワーク室
さのこの採取教室	和紙人形づくり教室
七宝焼教室	

マイプラン講座を希望される町内会や団体は、次の要領でご利用ください。

一、町内会・団体の皆さんが何を学習するか決めます。決定次

- 第マイプラン講座の申し込み書を社会教育課に提出します。
- 市が町内会・団体へ派遣する講師を決定し、連絡します。
 - 町内会・団体と決定された講師が学習内容について討議します。
 - 町内会・団体が学習場所を確保、会場を設置し当日の必要な準備をし学習を行います。
 - 学習会終了後、市が講師に謝礼金を支払います。
- ※申し込み書は、教育委員会社会教育課(☎1100)にあります。また、一団体につき三回までの学習が可能です。

市制二十周年記念 ふるさと歩こう会

若葉の茂る札内の大地を通りカールスまでの約十三・五キロを歩いてみませんか。

- ▼日時 六月二十四日(日)雨天の場合七月一日(日)午前八時に市営陸上競技場へ集合
- ▼市営陸上競技場までの運行バス
- 登別公民館：午前七時四十分
- 登別公民館：午前七時四十分
- 温泉公民館：午前七時三十分
- ▼対象 小学校四年生以上
- ▼内容 市営陸上競技場出発、札内(青藍牧場)経由、カールス着(予定)登別山岳会特製のブタ汁で昼食後オロフレ荘で入浴、午後三時バスで帰ります。
- ▼会費 大人：三百円、小中高生

- 二百円(傷害保険及び入館料ほか)
- ▼用意するもの 雨具、昼食、歩きやすい服装・くつ、帽子、洗面用具、替え下着
- ▼その他 十三・五キロの中間地点に給水場を用意しています。
- ▼申し込み・問い合わせ ふるさと広場実行委員会事務局(教育委員会社会教育課☎1100)

初心者陶芸教室開催 参加をお待ちします

- ▼日時 六月二十五・二十六・二十七日、七月十・十七日 午前十時～午後三時(ただし六月二十七日と七月十七日は正午)
- ▼場所 市民会館
- ▼定員 四十名
- ▼講師 老人クラブ陶芸会
- ▼教材費 千五百円(当日持参)
- ▼内容 コーヒーカップ、湯呑、小鉢、皿などの作成
- ▼申し込み・問い合わせ 六月六日より教育委員会社会教育課(☎1100)で受け付け開始

能楽仕舞発表会

文化協会謡曲部

- 文化協会謡曲部は、能楽仕舞の発表会を開催します。多数のご来場をお待ちしています。
- ▼日時 六月十日(日) 午前十時～午後四時三十分
- ▼場所 鉄南ふれあいセンター
- ▼入場料 無料

市民登場

友達の輪

吉野 朴 静 さん

(43歳)
柏木町在住



た。研さんの心を失ったら生きていけない、というね。私が出逢った師たちは皆そうでした。

今、登別高校の書道講師もしますが、教えるものが底をついたら教師はやれません。勉強は教え

脱サラ三年、退職金をつぎ込んで始めた書道教室です。小学生の頃から好きでしたが就職して中断したままズルズルと張りもてない暮らししてましてね、そんな私を見るのが辛かったのか、貴方には書道があるでしょ、と女房に言われたのがきっかけ。再開したら

タチなんです。書道熱が膨らんでいた矢先に職場が不況で揺れた時エイヤツと思いつきました。説得に苦労したのは親だけ。何んの保障もない生活よりは寄らば大樹の陰、と思うのは親心でしょうか、だからこそその緊張感、選びたかつ

次回、吉野さんご紹介の柏木町在住・菊地真澄さんです。お楽しみに!!

私も様々の出逢いによって生かされていますから、自分の教室で年齢も環境も異なる人達が出逢い輪を広げるのを見るのが一番うれしい。人間相手の仕事に変えて良かったと。人間、好きですね。(リポーター感・何によらずいやしくも師たる者かくあるべし、と胸にしみじみ。坂本優穂)

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の3 鉢山不動の滝

鉢山町から鉢山林道に入り三ッ岩に進み、右手に見える川をのぞくと橋の痕跡があります。川を渡り看板の通り歩いて行くと、高さ十餘程の滝が目の前に現れます。

豊富な水が垂直に滝つぼへ吸い込まれ、真白いしぶきをあげています。剣き出しの岩盤などが荘厳な雰囲気醸し出し、ピンと張りつめた気持ちにさせられます。

みなさんのまわりにお気に入りの名所はありませんか?



広聴広報係ではみなさんからの情報をお待ちしています。(☎851130)

街頭献血のお知らせ

次の日程により街頭献血を行いますので、市民の方のご協力をお願いします。

▼日時 六月五日(火) 午後二時～午後四時三十分

▼場所 室蘭生協幌別ストア前

「鬼」アンケートにご協力を!!

「鬼サミット登別」実行委員会は、現代人の心の中の鬼を表に現わし、登別の鬼を具現化するため「鬼アンケート」を作成しました。市役

▼締め切り 六月二十日(水)

059-05

切手

北海道登別市
登別温泉町60番地
登別観光会館2F

鬼サミット
登別実行委員会 宛

住所
氏名
年齢
職業(学校名学年)
電話番号

この面いっぱい、あなたがデザインした「鬼」を描いてください。

「鬼」のマスコット キャラクター募集

「鬼サミット登別」実行委員会は、皆さんに愛されるマスコットキャラクターを作成するため、あなたの想像する鬼を募集しています。多数ご応募ください。

▼図のとおりはがきでご応募してください

▼賞・最優秀 一点：登別温泉へアてご招待、優秀 三点：記念品、佳作 若干：記念品

▼応募締め切り 六月三十日(金)

▼発表会 入賞者は七月十日に登別観光会館前に掲示

▼問い合わせ 「鬼サミット登別」実行委員会 (☎3087)

※応募作品は返却しません。また、著作権、商標権は鬼サミット・登別実行委員会に帰属します。



ユーカラの伝承者として著名な登別出身の金成マツ子の伝える「ユーカラに、神の掟に叛いた若者が、道を誤って赤い谷間に湧く熱湯に落ち、神の国に昇天した」という一節がある。

アイヌの自然生活で、神が罰を与える場合「灼熱の地獄谷」が出現する例は珍しく、アイヌモシリの時代から、神罰を与える靈妙の地として登別温泉が存在していたのであろうか。アイヌ語地名も沢山ある。その中で

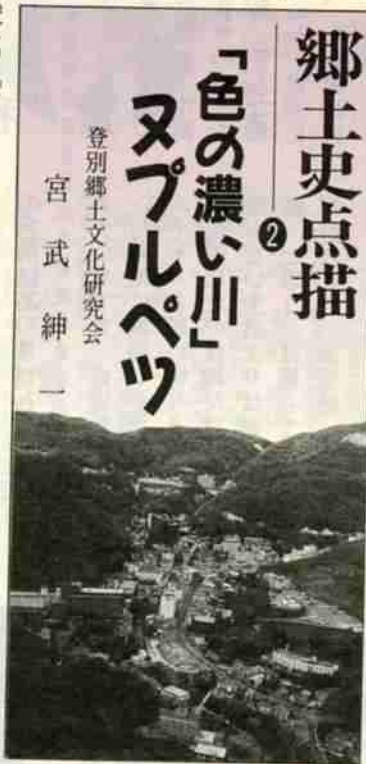
登別・ヌプルベツを「濁っている川」と訳される人が数多い。登別出身の偉大な言語学者知里真志保、登別をこよなく愛して下さるアイヌ語の大家山田秀三先生は「ヌプル」は、神や巫女の「霊力のある」という言葉で、強いという感じ、色や食物の味では「濃い」という意味を現わしているの、ヌプルベツは「色の濃い川」であると訳されている。江戸末期の野作東部日記（市川十郎）にも「ノホリヘツはヌプリーにて水色の濃いというアイヌ語である」と説明している。

お二人の先生が登別温泉の大湯沼へ行った時、湯沼の西方に流れ

る鼠色の流れを、知里博士がみて

「これがヌプルだ！ヌプルだ！」と嬉しそうに語ってくれたことを山田先生は「登別・室蘭のアイヌ語地名」の中で述べておられます。

登別出身の知里博士は、ヌプルベツを「温泉出て川に注ぐを以て水常に濁る故に・濁川」とした永田方正の北海道蝦夷語地名解、ジョン・パチエラーの英語辞典などの、表面的で簡単な意味の解釈に反発し、濁っているのであるが、



郷土史点描

「色の濃い川」ヌプルベツ

登別郷土文化研究会
宮 武 紳 一

言葉のもっている語原を正確に理解し、色の濃い川と名付けたわけで、山田先生も道内の濁り川をそれぞれの意味をもった言葉で丁寧によんでおられます。

実際に登別温泉の大湯沼を巡検すると、昭和和新山溶岩丘と同様、地下で固化した新溶岩が地盤を押し上げて生成した日和山（標高三七七メートル）の眼下に、続いて爆裂した火口跡に作られた周囲約一キロメートル、灰黒色の大きな湯沼「ポロトユ」

は普段見馴れた我々は驚かないが

学術上世界的に珍しい大湯沼がある。湯沼の底部は最深約二十二メートル、数個の攪鉢状窪地になり、深部は百三十度の高温、表面温度四十〜五十度、寒きとめて満々と湛えた湯は、西方の大湯沼川・ユーエサンベツで流出している。ミズナライタヤカエテなどの浅緑の樹林に

被われた大湯沼探勝歩道を、大正地獄から下手の湯川の流れに添って歩くと、赤褐色の湯床を、白粉と紺青を掻きたてたような湯色が、湯煙に包まれながら惜しげもなく滔々と流れている情景は実に幻想的で、知里博士が神秘的なこの流れを感激して「ヌプルベツ・色の濃い川である」と語ったことも、実感として我々に充分領ける場所であった。

知里・山田先生の「ヌプルベツ」の意味は、「色の濃い川」である事を登別の語源として確認したいですね。

このユーエサンベツと勝ちどきの滝の流れが地獄谷川などと合流し、クスリエサンベツ「葉湯・そこを・出てくる・川」の本流として、新登別大橋の下流で千歳川と合流し登別川として流れている。

二枚貝の貝毒にご注意!!

行楽時期を迎え、海で遊ぶ機会が多くなります。ホタテ貝、アサリ、ムラサキイガイ等の二枚貝は、この時期に海中の有毒プランクトンで毒化し、下痢や呼吸困難を起こし食中毒の原因となります。

現在、噴火湾三海域及び太平洋西部海域では麻痺性貝毒の毒性値が上昇しているため、出荷自主規制の措置が取られています。潮干狩などで二枚貝を採って食べるのではないよう注意してください。なお、不明な点などがありましたら室蘭保健所衛生課（☎01931）までお問い合わせください。

市民交通傷害保険

加入手続きはお済みですか
万一の交通事故に備えて家族ぐるみで市民交通傷害保険に加入しましょう。

「行楽期」の交通安全運動

本格的な行楽シーズンを迎え、解放感からスピードの出しすぎなどによる重大事故の発生が予想されます。事故を起こさないようお互いに気をつけましょう。

社交ダンス

初心者講習会開催

登別社交ダンス愛好会は、初心者を対象に講習会を開催します。

- ▼日程 六月八日（金）・十五日（金）・十七日（日）・二十二日（金）・二十九日（金）
- ▼時間 受付：午後六時三十分、講習：午後六時四十五分〜午後八時四十五分
- ▼場所 労働福祉センター
- ▼対象 初心者
- ▼種目 キューバン・ルンバ、ジルバ、タンゴ、ディスコ
- ▼受講料 千円
- ▼申し込み 当日会場にてお申し込みください
- ▼問い合わせ 登別社交ダンス愛好会 六角さん（☎01723）

六月一日〜六月十日

- 運動の重点事項
- 観光・行楽に伴う交通事故防止
- 二輪車の交通事故防止
- 歩行者と自転車利用者（特に子供・高齢者）の交通事故防止